



議会だより

第

118

号

群馬県昭和村議会

令和7年4月15日 3月定例会



Contents

2～3 令和7年度予算

4～7 3月定例会

8～9 各常任委員会

10～11 全員協議会・トピックス

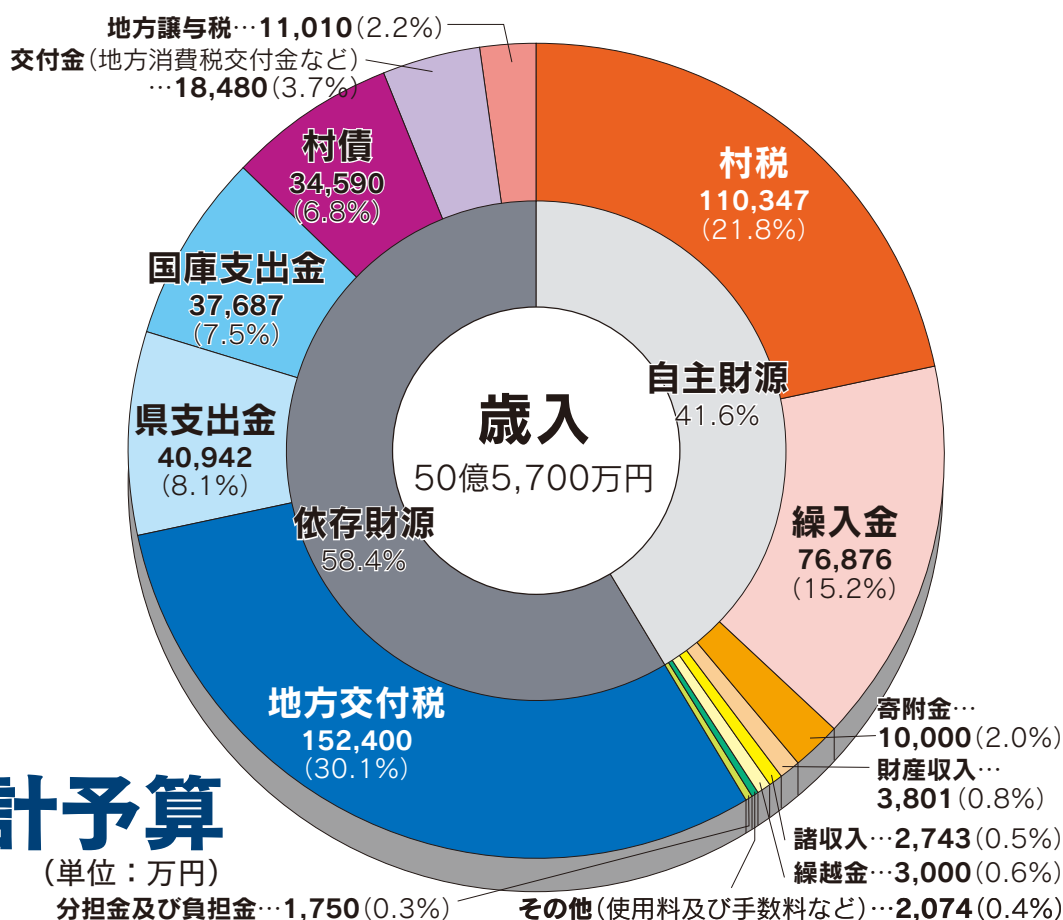
12～19 村の姿勢を問う

別冊 議員出前懇談会回答

5,700万円 (前年度比7.0%増)

しやすい村づくりに

だ支援を行うことで、「どこよりも子育てしやすい村づくり」の実現を目指し
据えた持続可能な行財政を前提に、中学校のスクールバス運行・新入学祝金
高齢者世帯等エアコン設置補助などに取り組むことを承認しました。



計予算

(単位：万円)

特別会計予算 (前年度比1.0%増)

総額 21億5,247万円

国民健康保険特別会計 12億2,953万円

介護保険特別会計 (65歳以上) 8億131万円

後期高齢者医療特別会計 (75歳以上) 1億2,163万円

公営企業会計予算

(単位：万円)

公営企業会計		本年度予算額	
		収入	支出
簡易水道事業	収益的	16,603	16,522
	資本的	4,355	5,353
下水道事業	収益的	26,728	26,518
	資本的	15,921	20,404

※支出に対する収入不足は補てん財源で補います。

歳入

自主財源

村が独自に確保できるお金。繰入金、村税など。

繰入金

基金を取りくずして繰り入れるお金。

村税

村民税や固定資産税、軽自動車税など。

依存財源

国や県の判断により割り当てられるお金。地方交付税や村債など。

地方交付税

ある一定の基準で国が市町村に支給するお金。

地方譲与税

国税として徴収したものを、市町村に対して譲与するお金。

国庫支出金

国から市町村へ特定の事業に対して支給されるお金。

県支出金

県から市町村へ特定の事業に対して支給されるお金。

村債

事業を行うために村が借入れるお金。

令和7年度 予算

予算総額 50億

どこよりも子育て

令和7年度予算は、人口減少対策・子育て支援は継続し、さらに一步踏み込んだ予算構成になっています。限られた財源を有効に活用するとともに、将来を見制度の創設・給食費の無償化・GIGAスクール端末購入・体育施設照明のLED化・

歳出

議会費

村議会運営の経費や議員報酬など。

総務費

人件費や事務費、微税費、戸籍費、選挙費など。

民生費

社会福祉費や児童福祉費、老人福祉費など。

衛生費

各種検診や母子保健事業、ゴミ処理のための経費など。

農林水産業費

農林業の振興や鳥獣害対策、土地改良事業などの経費。

土木費

村道や橋梁の整備、砂防工事、除雪費用など。

消防費

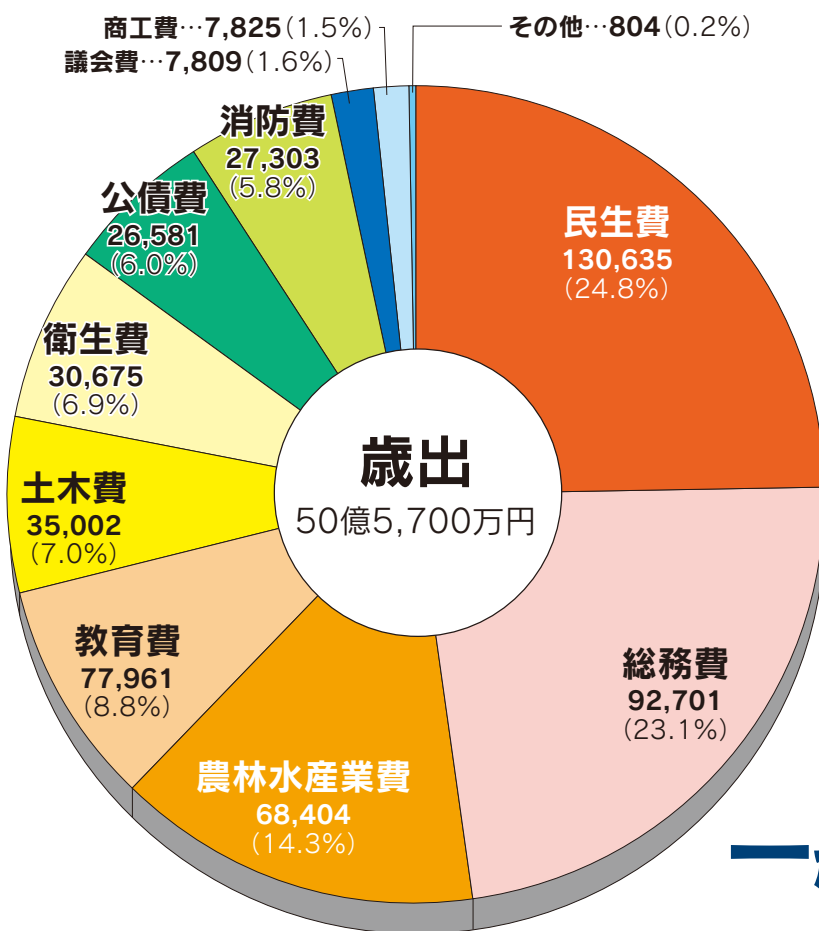
消防・防災施設整備の経費(消防団の運営など)。

教育費

小中学校の管理費、講演会・各種スポーツ大会などの経費、給食費など。

公債費

事業をするために借り入れた村債の元金・利子の返済金。



一般会

ふるさと納税活用事業

総務課

- ・ふるさと納税特産品返礼事業
- ・消防団装備整備事業
- ・自主防災組織活動助成

企画課

- ・観光等PR業務委託
- ・昭和の森管理運営
- ・赤城山登山道整備事業

建設課

- ・新築住宅・住宅リフォーム補助金交付事業
- ・君河原橋耐震補強工事

健康福祉課

- ・保育園おむつ回収
- ・誕生祝金
- ・子ども家庭センター運営事業

産業課

- ・道の駅管理運営事業

教育委員会

- ・スクールバス等運行事業
- ・体育施設LED化事業
- ・GIGAスクール端末購入
- ・学校給食費無償化事業

3月定例会

今定例会は、3月4日から14日までの11日間の会期で開催され、令和7年度予算を含む計27件（諮問1件、議案25件、発議1件）の議案をいずれも原案のとおり可決。また、8人の議員が一般質問をし、村の姿勢を問いました。

人事

昭和村教育長任命同意

小野和好氏の任命に同意。



(吹張)

昭和村教育委員会委員任命同意

石井美穂氏の任命に同意。



(南内出)

農業委員会委員の任命同意

農業員27名を任命することに同意。

地区推薦

藤井 功太氏（永井下組）
堤 真一氏（入原下組）
藤井 昭二氏（藤井）
倉澤 道明氏（根岸）
保坂 貴仁氏（鎌沢）
真下 進氏（森下中組）
諸田 勝氏（入沢）
鈴木 勝行氏（椽久保北部）
高橋 強氏（吹張）

諮問

人権擁護委員の推薦

諮問された堤恵理子氏の再任推薦を承認。



(森下中組)

団体推薦

林 孝志氏（吹張）
加藤 拓也氏（森下中組）
稲垣 貴謙氏（森下上組）
戸田 悦代氏（赤谷）
飯塚 伸子氏（入沢）
竹内 里美氏（藤井）
安達 悦子氏（常木）

条例改正

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

刑法の改正により「懲役」および「禁固」の刑罰を「拘禁刑」に統一する。

昭和村職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

令和6年度の人事院勧告に伴い、一般職の給与を平均2.76%引き上げ、また、期末・勤勉手当を0.1月分増額するなど合計11本の条例改正。

昭和村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例

現行では年単位を想定した報酬の支払方法の記載のみのため、日単位での支払い方法も追加し、その都度、もしくは月単位で支払えるように変更。

また、別表1に「参与」の職を追加。「参与」は重要施策の企画・立案および重要

課題の解決の促進に向け置くことができ、また、村長の求めに応じ、村政に対し助言および提言を行うことができる職。

昭和村一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の制定

専門的な知識や経験を有する者を、必要とされる業務に期間を限って採用するために必要な事項を定めるもの。具体的な業務は、防災対策や企業誘致、観光交流事業などを想定。

昭和村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

資産割の税率を段階的に引き下げていくため、令和7年度の医療分の資産割税率を現行の15%から10%に改正。

昭和村地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

職員配置について人材確保が困難となっている現状を踏まえ、必要な人員配置

について、常勤換算方法や、複数拠点で合算して3職種を配置することができるようにする。

昭和村小口資金融資促進条例の一部を改正する条例

小口資金の借換制度について、適用期限を令和8年3月31日に1年間延長する。

昭和村の大地からの贈り物をたくさん食べよう推進条例

昭和村の農畜産物の消費拡大に向けた基本方針を定めるとともに、村・生産者および事業者の役割と村民への協力を明らかにすることにより、安定した農業経営への支援と村民の健康増進を図ることを目的に制定。

補正予算

令和6年度昭和村一般会計補正予算

7億3,384万7千円を増額
総額 59億2,067万6千円
子供のための教育・保育

給付費負担金、物価高騰対応重点支援創生臨時交付金、小規模農村整備事業、学校建設基金積立、緑の大地ふるさとしようわ基金積立など。

令和6年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

1,059万3千円を減額
総額 12億8,191万2千円
高額療養費、出産育児費、医療給付費など。

令和6年度昭和村介護保険特別会計補正予算(第3号)

6,091万2千円を減額
総額 8億1,691万5千円
介護サービス等諸費、特定入所者介護サービス等費など。

令和6年度昭和村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

337万2千円を減額
総額 1億1,163万9千円

後期高齢者医療広域連合納付金など。

令和6年度昭和村簡易水道事業会計補正予算(第2号)

収益的収支 料金・維持管理費など
収入 392万9千円増額
支出 414万5千円増額
収入合計 1億7,938万9千円
支出合計 1億6,758万5千円

資本的収支 (施設改修費など)

収入 39万6千円増額
支出 290万円の減額
収入合計 920万4千円
支出合計 5,491万7千円

水道使用料や消費税の増額、配水管布設替工事費の減額など。

昭和村下水道事業会計補正予算(第2号)

収益的収支 (料金・維持管理費など)
収入 727万円減額
支出 278万8千円増額
収入合計 2億8,974万9千円
支出合計 2億6,376万2千円

資本的収支 (施設改修費など)

収入 603万3千円減額
支出 497万1千円減額
収入合計 1億4,092万2千円
支出合計 2億642万6千円
消費税納税分増額や、浄化槽設置工事費の減額など。

その他

昭和村第6次総合計画基本構想の策定

10年後に目指す村の姿を示す将来像を「ともにつくろう 輝く昭和村」と掲

げ、それを実現するための施策などを示し、総合的かつ計画的に村政運営を進めるための計画を策定。

村道路線の変更

「赤谷新中道6号線」の起点・終点の変更。

発議

ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める意見書を内閣総理大臣、厚生労働大臣、総務大臣、財務大臣宛てに提出。

1 医療や介護現場で働くすべてのケア労働者の賃上げと医師・看護師・介護職員などの配置基準を抜本的に見直し、大幅に増員すること。また、人員確保のために必要な追加支援策を実行し、支援すること。

2 すべての医療機関と介護事業所等を対象に、物価高騰や人件費増を補えるだけの診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬を抜本的に引き上げる臨時改定を実施すること。

令和7年度 重点事業ピックアップ

スクールバス運転業務

【予算額…4,372万円】

以前から課題のあった中学校スクールバス運行に伴い、中学生の安全な通学と保護者の負担軽減を図ります。

また、スクールバスの運行に伴い、運行管理要綱を制定するとともに、遠距離等通学補助金の見直しを行います。

入学祝金事業

【予算額…440万円】

重点課題でもある少子化対策の推進を図るため、新たに入学祝金制度を創設し、子どもたちの入学を祝うとともに、子育て世代の経済的負担を軽減し、子どもの健全な育成を支援します。小学校入学に3万円、中学校入学に5万円を支給。



高齢者世帯等エアコン設置 助成事業

【予算額…50万円】

住民税非課税世帯の75歳以上の高齢者世帯または、重度心身障がい者などの世帯が対象となります。購入費用の2分の1以下（上限額5万円）を助成します。

GIGAスクール構想

【予算額…3,420万円】

小中学校に導入した児童・生徒の1人1台端末（タブレットブック）が、導入してから5年が経過し、新たに端末570台を整備します。利用開始は令和8年度から。



消防ポンプ車購入事業

【予算額…5,591万円】

火災などの災害から村民の大切な生命と財産を守るため、第1分団と第2分団の消防車両を更新します。今回の消防車両の購入によ

り、すべての分団の消防車両が更新されます。

橋梁維持事業

【予算額…7,842万円】

県が指定している第2次緊急輸送道路である君河原橋の耐震補強工事を実施します。



体育施設照明LED化事業

【予算額…3億1,110万円】

村内体育施設の照明について、総合運動公園野球場、多目的グラウンド、テニスコート、青少年広場、多目的屋内運動場の5箇所のLED化を実施します。

妊婦のための支援給付金

【予算額…350万円】

令和7年度より、従来の「出産・子育て応援助成事業」に代わり創設されました。

妊婦給付認定の申請をし、認定された場合に、まず5万円（妊婦支援給付金1回目）を支給し、出産予定日の8週間前以降に胎児の数をお届けした後に、胎児の数×5万円（妊婦支援給付金2回目）を支給します。

昭和村マラソン大会補助金

【予算額…450万円】

河岸段丘マラソン大会が6年ぶりに再会します。武尊山、谷川岳を遠望しながら、広大な野菜畑の中を気持ちよく走ることが出来ます。開催日は、5月25日（日）です。



提出された議案等と賛否一覧		堤宏康	佐藤好美	林栄一	倉沢つかさ	林勝美	阿部孝司	片柳悦夫	藤井貞充	林幸司	加藤生	沢浦典子	永井一行
※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。													
第1回定例会（令和7年3月4日～14日）													
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第1号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第2号	昭和村職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第3号	昭和村の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第4号	昭和村一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第5号	昭和村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第6号	昭和村地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第7号	昭和村小口資金融資促進条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第8号	昭和村第6次総合計画基本構想の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第9号	村道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第10号	令和6年度昭和村一般会計補正予算(第5号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第11号	令和6年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第12号	令和6年度昭和村介護保険特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第13号	令和6年度昭和村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第14号	令和6年度昭和村簡易水道事業会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第15号	令和6年度昭和村下水道事業会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第16号	令和7年度昭和村一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	—
議案第17号	令和7年度昭和村国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第18号	令和7年度昭和村介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第19号	令和7年度昭和村後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第20号	令和7年度昭和村簡易水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第21号	令和7年度昭和村下水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第22号	昭和村教育長の任命同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第23号	昭和村教育委員会委員の任命同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第24号	昭和村農業委員会委員の任命同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第25号	昭和村の大地からの贈り物をたくさん食べよう推進条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議第1号	ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

みなさんからの請願・陳情

自 令和7年2月6日 至 令和7年2月19日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
40	R7.2.6	村道6号線(川額地内)道路改良整備を求める陳情書	川額区長 千木良厚 川額根岸常会長 倉沢道明		文教産建	採択
41	R7.2.19	ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める請願書	群馬県医療労働組合連合会 中央執行委員長 出浦 匠人	林 幸司	総務民生	採択

総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

請願1件を審査、採択 高崎市の金古公民館を視察研修

3月10日に総務民生常任委員会を開催し、請願について審査しました。

審査

「ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める請願書」を採択

看護師や介護職などの社会基盤を支える労働者が、その役割の重要性に比べて賃金水準が低い状況である。それを受け政府はケア労働者の賃上げ事業に踏み出したが、いまだ職種や医療・介護施設によって、報酬も大きく異なり、従事者間では格差が生じていること。また、ケア労働者の賃金水準は、全産業平均から大きく下回り、医療・介護現場では、退職者が増加。また、入職者が減少している事態となっているとの請願趣旨。

これらを踏まえ、慎重に審査をした結果、賛成多数で採択すべきものとした。

研修視察

堤ヶ岡飛行場（高崎市）の歴史などを研修

高崎市にある金古公民館にて、太平洋戦争中に建設された「堤ヶ岡飛行場の歴史」と「赤城高原開拓当時」について、一般財団法人群馬県教育振興会専務理事の鈴木越夫氏から、関係者へのインタビュー映像などの資料をもとに説明を受けた。堤ヶ岡飛行場ができるまでの流れや、その当時の住民の暮らしに及ぼす影響。また、戦後、堤ヶ岡飛行場の跡地の一部は現在の「イオンモール高崎」と住宅地に開発が進んだこと。



鈴木越夫氏



現在に残る当時の資料



映像で見る当時の風景

赤城高原開拓では、諸資料から、開拓者の並々ならぬ努力が、土地改良が進んだ現在の赤城高原の礎となっていたことが伝わってきました。

「歴史を振り返り、未来を考える。」村づくりにとって大切な視察となりました。

所管事務調査

問 AEDの定期点検、講習会の実施状況について。

答 総務課

村施設にある物はリース品のため耐用年数以内。消防団では毎年講習会を実施。希望があれば、自主防災組織などで講習会も可能である。

問 子ども家庭センター「つなごる」の現状について。

答 健康福祉課

子どもや保護者を対象に、妊娠期から青年期まで、医療・福祉・保育・教育などの多方面から継続して一体的な支援を行っている。児童虐待やサポートプラン対象ケースは現在のところない。

問合せは昭和村保健センター内、健康福祉課（☎0278（24）5142）まで。

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水などに関する事項を所管

陳情1件を審査、採択 中之条町の道の駅・衛生センターなどを視察研修

3月11日に文教産建常任委員会を開催し、陳情について審査しました。

審査

「村道根岸6号線（川額地内）道路改良整備を求める陳情書」を採択

川額区長、隣接の地権者から、一部コンクリート舗装にはなっているものの、かなり道路が傷んでいる。また、側溝と道路の段差もあるため、大変危険であるとの説明を受けた。これらを踏まえ慎重に審議した結果、全会一致で採択すべきものとした。



村道根岸6号線

視察研修

中之条町「歴史と民族の博物館 ミュゼ」

中之条町を中心とした、原始から近代史までの歴史・民族資料が、常設展示室で公開されている。

博物館は、明治時代に建てられた擬洋風建築の旧吾妻第三小学校校舎（群馬県指定文化財）を活用したものの。

7,000点を超える展示品は、ふるさとに会える町「なかのじょう」を体感できる。



縄文・弥生時代の出土品などを展示

道の駅 霊山たけやま

中之条町職員より、施設の概要と運営状況の説明を受けた。

平成2年度にふるさと公園「たけやま」整備事業として開始し、14年度に完了。既存施設の改築工事を経て平成20年に「道の駅」として登録。

施設面積は20,000㎡。広大な敷地の中には、農産物直売所や多目的室を備える「たけやま館」、子どもが遊べる「こども館」や遊具などがある。

地域雇用を考慮し、町の直営で運営しているとのこと。



農産物直売所などが入るたけやま館

東吾妻東部衛生センター

中之条町、東吾妻町、高山村で組織された、吾妻東部衛生施設組合（昭和40年設立）で、ゴミ処理施設を管理運営。

「清潔な住みよい町・村のため、排出されるゴミを衛生的に効率よく、適正に処理」を目的に、コンピューターによる自動運転で、ダイオキシン類の発生および除去を行う。

衛生センターでは、し尿処理、ごみ処理、粗大ゴミ処理施設として稼働し、健康で快適な生活環境の保全に努めるなど、利根沼田新施設の参考となる視察となった。



東吾妻東部衛生センター

全員協議会

1月・2月・3月に開催した全員協議会での協議内容は以下のとおりです。

1月24日

重点支援地方交付金

国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策として、重点支援地方交付金の支給が決定。当村には住民税非課税世帯などに1世帯3万円の支給と、上下水道基本料金の免除に活用する旨の説明を受け協議する。

しようわライフプラン

健康づくりにおける取り組みを総合的かつ効果的に推進するため、平成31年に策定した「しようわライフ



プラン」について、これまでの計画や進捗状況、新たに生じてきた健康課題など、健康づくりを取り巻く情勢の変化を踏まえ、今後11年間の計画を改めて策定する旨の説明を受け協議する。

2月26日

中学校スクールバス運行

公共交通利用不便地域における児童生徒の通学の安全確保および保護者の負担軽減のため、新たに4月1日から中学生のスクールバスの運行が開始されることについて説明を受け協議する。

利用対象者

通学距離6km以上となる地域（永井、生越、中野、長者久保、大河原、追分、赤谷、赤城原第1・第2、松ノ木平第1・第2）



中学校遠距離等通学費補助金規程の改定

通学距離が6km以上となる生徒全員に対してスクールバス運行の物的補助を行うため、目的や補助の内容が重複するスクールバス利用対象者を遠距離等通学補助金の対象としないことを明記することについて説明を受け協議する。

昭和村高齢者世帯等エアコン設置助成事業実施要綱

経済的理由により自宅内に使用できるエアコンの設置がない高齢者のみの世帯などに、エアコンの購入費用および設置費用の一部を助成すると説明を受け協議する。



一般廃棄物処理の相互支援に関する包括協定

沼田市、片品村、川場村、昭和村およびみなかみ町の5市町村と、中之条町、長野原町、嬭恋村、草津町、高山村および東吾妻町の6町村において、支障を来す緊急事態の発生に備えるため、相互の連携と支援に関する基本事項について包括協定を締結したと報告を受ける。

事務状況ヒヤリング結果について

令和4年度決算をもとに財務省のヒヤリング調査が行われ、債務償還能力および資金繰り状況について、いずれも収支状況は良いと診断。『留意すべき状況にはないと考えられる』と評価を受けたと報告を受ける。

3月12日

入学祝い金について

子育て支援対策の一環として、保護者に対して支給。家庭の経済負担を軽減する目的との説明を受け協議する。

- (1) 小学校 新入学生1人につき30,000円
- (2) 中学校 新入学生1人につき50,000円



議員出前懇談会の実施結果報告書への回答

令和6年11月に計6会場での議員出前懇談会を実施。そこで出された意見をまとめた結果報告書を1月に村当局に提出。それに対する回答について協議する。



視 察・調 査・トピックス

第3回昭和村はたちを 祝う記念式典

1月12日、二十歳を迎えた62人が式典に参加。今年二十歳を迎えたのは平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた方々。

旧友や恩師との再会に喜び合いました。



賀詞交歓会

1月13日、村内企業や各団体関係者など約100人を招き、新年のあいさつを交わしました。



ピンポンフェスティバル

2月2日、第57回ピンポンフェスティバルが社会体育館にて開催されました。23チーム、約180人が参加。議会はクラスで参加して参りました。



ウィンターフェスティバル

2月8日、雪が降りしきる中、総合運動公園にて第30回ウィンターフェスティバルが開催されました。

村内企業、利根沼田首長・議長を招き、昭和村公民館にて交流会を行ったのち、冬の花火を鑑賞しました。



給食試食会

1月24日、昭和村給食センターにて、職員の方から給食センターの設備や、給食を作り学校に届けられるまでの流れ、子ども達のことを考えた栄養バランスなどの説明を受けながら、給食の試食をして参りました。ボリュームもあり、大変おいしくいただきました。



昭和の森山荘の今後は

加藤
生
議員



村長 このまま放置することは望ましくなく、今後のあり方については決断の時に来ている

問

昭和の森山荘は老朽化が進み、約5年もの歳月、営業が行われておりません。村内に宿泊のできる施設が望まれますが、クラウドファンディングやふるさと納税などで資金を集め、首都圏から近い地の利を生かして営業を再開する考えはあるか伺います。

答 村長

調理人など従業員の確保が難しいことから現在休館。活用方法については協議しましたが、改修などに多額の費用が必要のため、決まらず現在に至っています。

今後、再開する際の改修費用や解体する場合の経費を確認し、再開できるようにであれば、国の補助金やクラウドファンディング、企業版ふるさと納税などの活用を検討。また、活用が難しい場合には取り壊しも含め、近いうちに方向性を出したいと思います。



休館している昭和の森山荘

問

昨今の農業を取り巻く環境は大変厳しい状況です。そこで、若い農業経営者に違った角度から水を利用して営農し、気候変動に適した栽培を見たり学んだりする機会の提供をお願いします。

村長 地域の特性に合った取り組みや見聞を広める機会が必要

農産物の多品目化にそなえての先進地視察と研修を

答 村長

昨今の大変厳しい農業経営環境下において、品種の選定や設備、新規作物の導入など新たな取り組みが必要。先進地視察や研修を行い、地域の特性に合った取り組みや見聞を広める機会が必要と考えています。

答 産業課長

こんにやく価格低迷などにより、危機的状況下において、先進地の営農を見たり学んだりすることは必要。各地域の農業者の代表である農業委員と相談し、視察先や研修内容を協議していききたいと思っています。

職員の週休3日制の導入について

村長 現在実施する予定はない

問

群馬県では週休3日制を実施し、人材確保に努めています。村でも導入予定があるのか伺います。

答 村長

群馬県では1週間の勤務時間である38時間45分はそのまま、1日の勤務時間7時間45分を4日間

に割り振り、1週間の出勤日を1日減らすことで柔軟な働き方の実現を目指しています。

村では現在実施する予定はありませんが、職員からの要望が高まれば、週休3日制についても問題のないようなシフトづくりを考えて、進めていきたいと思っています。



林 勝美 議員

こんにやく農家の支援策は

村長 安定した農業経営が出来るよう支援する

問 こんにやく農家の経営安定化に向け、例えば価格補填や経営継続支援、他作物への転換への補助など支援策は。

答 村長

村単独での価格補填は難しいが、安定した経営ができるよう、複合経営への転換も含め、国や県の補助事業を活用して支援していく。

問

こんにやく粉の消費拡大を促すため、こんにやく研究会の若者が中心になり、「しらたきサラダ消費拡大大作戦」を行っている。村として支援・後押しする考えは。

答 村長

こんにやく粉の消費拡大に向けた、素晴らしい取り組みだと思っている。村としても積極的にPRを行い、推進していく。

問 こんにやく産業の持続可能性を確保するための、長期的な戦略はあるか。

答 村長

なるべく早くこんにやく価格が回復できるように、消費拡大PRを積極的に推進していく。また、農家に対し複合経営への転換も含め、国や県など関係機関と連携し、安定した農業経営ができるよう、また海外輸出や新たな商品開発などに協力していく。



吉本興業との包括連携協定について

村長 各種イベントに参加していただき地域活性化に

問

吉本興業との包括連携協定を締結した理由とその狙いについて。

答 村長

地域の活性化、健康福祉の向上、教育と子育ての融合、住民活動の推進、特産品の開発など、村民サービスの向上および地域の活性化を図ることが目的。中学一年生へのお笑いワークショップ、昭和の秋まつりやウインターフェスティバルの司会、年2回のお笑いライブ、「よしもとカレー」の販売など徐々に成果が出ている。

問

今後どのような形で連携していくかと考えているか。

答 村長

協定からまだ2年半のため、現状の連携を維持しながらも、少しずつ関係を深めていきたい。

問

新たに取り組むべき課題や改善点は。

答 村長

お笑いライブは回を重ねるごとに関心が高まっていると実感している。村の各種イベントに芸人さんを招待して、会場を盛り上げていただくとともに、SNSへの投稿などにより、村のPRにつながることを期待している。

そして、昭和よしもと会の皆さまにも、引き続きご協力いただきながら村民サービスの向上と村の活性化を図っていく。

沢浦 典子 議員



道路の整備に今まで以上の予算を

村長 限られた財源の中で着実に進めたい

問

道路は毎日休みなく使われている。トラクターなどの大型車も頻繁に通るため、補修や整備が間に合わず傷ついているのが現状。

請願の多くは道路関係であり、地域の皆さんの切実な願いである。採択されているにもかかわらず、着手していない案件はどのくらいあるのか。緊急性や危険性を考慮しても、採択されている案件は早めに実施をお願いしたい。



め、昭和村に来てくれる人のためにも安心・安全の道路整備をお願いしたい。

答 村長

平成26年度から令和5年度までの10年間で、採択された52件の請願などのうち、実施済み・一部実施済み・実施中のものを合わせると37件。未着手は15件。

なるべく採択されたものは優先したいが、やはり危険なところから優先してやるべきだと思う。全てを一編に着手することとはできないが、順次進めていきたい。

伝統を守り、人々が交流できる取り組みを

村長 村民のコミュニケーションの活性化は大事

問

運動会は子どもから大人まで楽しむことができ、小さい村だからこそそのつながりがある。また、川額・森下に伝わるまんどろや各地域で行われてきたお神輿などは、後世に残したい大事な伝統。

そして、運動会やお祭りで必ず踊ってきた「昭和音頭」。時代は変わっていくため、昔のようにはいかないが、なくしてはならないものを守り、村民みなが楽しめるような村のイベントを考えてほしい。

答 村長

運動会に関しては反対の地区が大変多かったことから再開は断念。子どもから大人まで楽しめる新



しい村づくりを実現していくために、村民のコミュニケーションの活性化は大変重要と考えている。スポーツ協会やスポーツ推進委員の方々と企画を検討していきたい。

また、川額・森下に伝わるまんどろや各地区のお神輿、昭和音頭は大事な伝統文化のため、後世に継承していけるよう各地区に働きかけたい。



林 栄一 議員

旧JA久呂保跡分譲地のセールスポイントは

村長 利便性が良く、条件が整っている

問

どのようなスケジュールで譲渡をし、募集対象者の基準設定は。村の人口増へ繋げる起爆剤にするため、若い方々に土地購入を促してほしい。

また、売買単価はどのように設定していくのか。

答

村長

登記関係が終了し、要綱などの準備ができたから、速やかに議会へ報告をしたい。人口減少と定住対策を基本に、村外の希望者も募りたいと考えている。

分譲地の造成工事費と近隣の売買単価などを参考に価格を決めていきたい。

問

分譲地を売り込む際、強調すべき特徴や利点は。

答

村長

昭和インターや岩本駅からの利便性の良さ、南

小学校や利根中央病院にも近く、環境も良い。

上下水道と分譲地内の道路も整備済みであり、住宅建築には条件が整っている利点がある。



早期分譲が待たれる

指定文化財の現状と保存支援を

教育長 状況を確認し再検討

問

初指定から今日までの課題は。保存と活用はどのように考えているか。

異なる指定文化財の維持管理費を、現状にあわせた支援にしてほしい。災害保険に負担感を抱く行政区もある。

答

教育長

文化財の老朽化や所有者の高齢化、専門知識を

持った職員がいないなど、文化財の保存や活用面において課題があると感じている。

維持管理費は所有者にお願いし、修復および復旧に多額の費用を要した場合、経費の一部を村が補助金で交付。所有者へは一律5千円の管理費を補助しているが、管理費や保険の関係を含め、再度文化財保護委員会で検討をしたい。

昭和村誌編纂の調査着手へ

村長 村の歴史をまとめておくことは重要

問

昭和村誌編纂に着手する考えは。

令和7年度からスタートする「第6次総合計画未来プラン2034」に「昭和村誌編纂」を計画に盛り込んでいただきたい。

答

村長

昭和村の歴史をまとめておくことは、大変重要と考えている。村誌編纂については平成14年度に協議が済んでおり、改めでの作成は考えていない。しかし時間と経費が

非常にかかるが、その辺を踏まえて、もう一度協議をしていきたいと考えている。

総合計画には具体的な事業名を記載するのではなく、広く対応できる記載としたい。

推進協議会(仮称)の行政組織の位置づけ、 権限あるいは決定事項の重要度は

教育長 教育委員会が設置する任意の協議会であり、行政的な決定権を有していない

堤
宏康
議員



問 小中一貫校について、学校と地域の関係は具体的にどう考えているか。

答 村長

先生方の働き方改革の中で、講話や授業、クラブ活動など地域住民の多様な参画を望んでいる。地域がこれまで以上に学校と密接に連携し、積極的に子どもたちの見守りや、育成を担っていく必要があるかと考えている。

問

教育の多様性・協働・主体的な学習を保証していくために、地域が強力なパートナーシップを発揮し、学校だけでなく、地域も含めて育てていく。そのために、コミュニティスクールの充実とあるが。

答 教育長

各学校の中にある学校運営協議会という組織を

コミュニティスクールと言っている。地域の方々が学校に来て子どもたちと一緒に活動をする。逆に、子どもたちが移動して、地域において体験的な学びなどを行う。そういう形がコミュニティスクールと考えている。

問

旧建設委員会と推進協議会は活動が重複する部分があるが、委員構成が異なるため、位置づけが違うと思う。推進協議会の行政組織の位置づけ、権限あるいは決定事項の重要度は。

答 教育長

教育委員会が設置する任意の協議会のため、行政的な決定権を有していない。統合小中学校の設立に向けて、新しい教育や学校のかたちについて理解を深める議論を行い、状況をまとめていく組織。

問

教育課程に関わらない部分であれば、村長の傘下、教育長が責任を持って運営していく協議会であり、教育長は話し合われた事項を村長に報告。村長は最終決裁を行い、学校設置条例案や予算案を議会に諮るといった流れになるのでは。

答 教育長

任意の協議会であるため、要望を村長に上げていく形になる。最終的なイメージは提案型。

問

1月に実施した説明会の参加者は。

答 教育長

保育園と中学校は参観日に併せて開催したため、参加人数が多かったが、各小中学校は一桁だった。公民館で日曜日の昼間に開催した際は3名。

問

説明会での資料の中に「建設委員会が提案した場所について、議会承認を得られず」とあるが、どのような事実に基づいているのか。

答 教育長

議会全員協議会に提案したところ、場所云々ということだけではなく、まず村民の理解が得られていない、協議が不足しているなどということでも却下されたという記憶している。

問

今回の説明会で小加が少なく思う。説明会を再度開くなど、理解と協力を得られるような手だてを打っていたきたい。7年度の活動については。

答 教育長

4月に設立会議を予定。委員の皆さまと協議・検討を考えている。



佐藤 好美
議員

除雪事業の総合的な見直しを

村長 除雪箇所等全体的な見直しが必要 実施可能な対策検討

問

村地域防災計画では「雪害に強い村づくりの推進」を掲げています。道路は村民にとって重要なライフラインです。

除雪については、熟練したオペレーターの減少、高齢者・障がい者世帯の除雪担い手不足、他にもさまざまな問題があり深刻な状況です。

商工会との意見交換会で、事業者負担が大きいなど、除雪体制は非常に厳しい状況との説明。また、村で除雪車の所有などの提案がありました。

村の計画では、除雪体制の整備として、最大限の効果・効率的な除雪に努めるとあります。

今年の大雪時は村民も混乱したのではないかと思います。地域を巻き込んだ除雪に対するネットワークを構築し、村民が安全で安心して暮らせるため、事業者・地域と連携して、総合的な見直しを求めます。

答 村長

村道の除雪は、総延長130kmを村内6事業者で行っています。

毎年事業者と除雪会議を行い、路線の割り振りの確認や問題点などを協議。その中で村での除雪車両の整備を求める意見が出ていることも承知しています。

将来的に業者数の減少が予想される中で、除雪車両の問題だけではなく、除雪箇所やオペレーターの問題など、除雪事業の全体的な見直しが必要と考えています。

他市町村の状況などを参考に、本村で実施可能な対策を検討していきたいと考えています。



村開催のイベントなどへ子育て世代も参加できるように

村長 沼田市ファミリーサポートセンターの利用を

問

村ではさまざまな行事・講演会などが開催されていますが、子育て世代が参加することは難しい状況です。

若い世代が参加しやすいよう、子どもを預かる託児場所や、子どもと一緒に参加できるなど、子育てに優しい配慮を推進してください。

また、その際は回覧やチラシに「子どもも一緒に参加できます」のような案内も添えてください。

答 村長

親子で休憩できるスペースを確保することは、行事によって対応可能です。

乳幼児を預かることは、設備や人員確保など、難しい課題があります。昭和村民も沼田市ファミリーサポートセンターの利用を

答 教育長

ミリーサポートセンターの広域利用ができます。利用料や年齢制限がありますが、子どもを預けることができますので活用してください。

社会教育事業として開催しているさまざまな教室や講演などは、ほとんどの事業で子どもも同伴できますが、預かる対応はハードルが高いと思います。

今後の事業実施時は、子育て世代が参加しやすいよう回覧の通知内容を考え、対応も考えていきます。



除雪予算増額で路線や対応の改善を

林 幸司 議員



村長 路線は延ばせない
除雪事業全体を見直したい

問

建設業者の廃業や、除雪に協力してきた農家の方の高齢化も進んでいる。除雪予算を大幅に増やし、村民のボランティア除雪に頼っている現状について改善を。数十年来の除雪路線は見直さない方針の撤回を求めます。

答 村長

業者数が減少している中、現在の除雪路線の対応で精いっぱいであり、これ以上除雪路線を延ばせないのが現状。除雪事業全体の見直しが必要で、その中で重機の整備方法などについても考えていきたい。除雪ボランティアへの支援と、小型除雪機の配備については、関係組織などの体制や他市町村の実施状況などを踏まえな

から検討していきたい。



公益通報者保護法に対する対応は

村長 努力義務なので対応していない

問

役場の担当、従事者は指定されているのか。また、運用規定などは定められているのか。今までに法令違反行為に係る通報は何件あったのか。

答 村長

内部通報に対応する体

危機的な農業への支援策を

村長 ばらまきのことはしたくない

問

村始まって以来の緑の大地ふるさとしょうわ寄附金から2億円を活用して農業支援策の実施を求めます。畜産の自給飼料生産拡大やこんにやくの複合作物導入に村独自の支援策を求めます。

答 村長

単発補助では限られた効果に。ばらまきのことはしたくない。産業は自分たちで、まずはどうしたらこの困難を乗り越えられるか真剣に考えていただきたい。自給飼料拡大や複作物導入は、国・県の補助



事業を活用するとともに、収入保険の推進などにより支援していきたい。

制の整備などが法で義務付けられているが、従業員数300人以下は努力義務であり、昭和村では定めていない。行政機関などへの通報は、要綱などで定めていないが、通報があった場合は総務課で対応する。法令違反行為に関わる通報件数は把握していない。



倉沢つかさ 議員

村民用トイレ増設計画は

村長 既存観光トイレ以外に増設予定はない



公共トイレが近くにあれば

問

村内の観光トイレは、村内の方々が快適に利用できるように、清掃・管理面で予算計上され、昭和村の印象を良くする努力は理解しています。

設置箇所については、広い農地に対して望郷ライン南方面に少ないため増設を望む声や、農作業をされる方が観光用トイレを使うことに躊躇される方もいるとの声があります。農作業の途中、食事の前の手洗いなどに、立ち寄れるトイレの設置の必要性和増設計画はあります。

答

村長

村で設置した観光トイレは4箇所と、その他にポケットパーク、道の駅あぐりーむ昭和、総合運動公園内に誰でも利用できるトイレがあります。

村内バランス良く設置されていると考えおり、現時点では村民用トイレの増設の予定はありませんが、農免道路沿いにトイレが少ないとは感じています。

観光用と村民用に分ける必要はないと考えていますが、基礎整備も含めて補助事業があれば、トイレ設置をすべきと思っています。

令和7年度空き家対策で強化することは

村長 解体補助事業の周知・空き家の減少施策推進

問

空き家問題は、全国的にも対策を練るなどエネルギーが必要な問題です。令和5年調査においては206件の空き家が報告。今後、空き家は増えることが予想されます。

「第2期昭和村空家等対策計画」を今年立てましたが、この1年はどのような対策をしましたか。2年目は何を重点に進める予定ですか。

者に解体補助事業の周知を図り、空き家の減少施策を進めていきます。

村の空き家対策の大きな課題は、相続・登記関連で発生することが多いため、個人の家屋問題に村が介入することには限界がありますが、困っている村民の相談に応じることや、専門家へ繋げるなどの支援をしたいと思っています。

答

村長

今年度は空き家解体補助金を活用した件数が増え、解体補助金の事業効果が表れたのではないかと思います。来年度も引き続き、空き家所有



解体が活用か

地域でがんばる



生涯現役

冬季間の行事で定着している「昭和村老人クラブ連合会輪投げ大会」で、最高齢で出場した新木タカさんを訪ねました。訪問した際、「昨日が私の誕生日、曾孫^{ひまこ}からいただいたケーキ食べて」と、手作りのイチゴケーキを私にも出してくれました。

タカさんは、昭和3年2月生まれで、満97歳です。農家に生まれ、養蚕やこんにゃく栽培などに専念。無我夢中で仕事をしてきました。3人のお子様に恵まれ、孫6人、曾孫^{ひまこ}14人、玄孫^{やしやこ}も1人おり幸せいっぱい。

若い時から運動が大好きで、テニスやバレーボール、バドミントン、卓球など多くのスポーツに挑戦。ターゲットボードゴルフは、母子会の時から始め、全国大会へも出場。60代からは老人会に入り、ゲートボール、グラウンドゴルフ、輪投げもやるようになりました。村のスポーツ振興に尽力し「体育

功労者表彰」も受け、トロフィーもたくさんあります。手先も器用で、孫のセーターも編み、折紙もしました。

老人会の千賀戸神社清掃にも出かけ、積極的に社会参加もしています。年齢を重ねても仲間が誘ってくれるので、毎日が多忙であり充実。利根沼田の仲間（むつみ会）と毎月1回のゲートボール交流も楽しみの一つです。

家族が協力的で、ありがたいと感謝。時には、娘が収穫するホウレン草の手伝いや、家族のために昼と夜の食事づくりは毎日しているとのこと。好きなテレビ番組は、刑事シリーズで、「科捜研の女」や「相棒セレクション」など。

長生きの秘訣は、「好き嫌はなく、できることは進んでする



新木 タカさん
(椋久保南部)

ようにしているよ。苦勞したから長生きできたかな」。目標は、家に来て3か月の玄孫^{やしやこ}と遊べるようにしたい」と、かくなタカさんです。



昭和村老人クラブ連合会輪投げ大会

編集室から

春・別れと出会いの季節。進学や就職などで生活が変わる方も多いのではないのでしょうか。

3月議会で新年度予算が成立し、7年度が始まりました。野山では新緑の季節。畑でトラクターが大きなエンジン音を、「さあ今年も忙しくなるぞ」と頑張っています。

村ではどこよりも子育てしやすい村づくりを目指して、いろいろな施策を行います。コロナウィルス後でさまざまな行事も行われるようになりしました。明るく、安全・安心な昭和村づくりにまい進いたします。

藤井 貞充 記

議会広報編集特別委員会

委員長 林 栄一

副委員長 藤井 貞充

委員

阿部 孝司 佐藤 好美

堤 宏康 沢浦 典子

永井 一行



議会だより
既刊号